

認知症作業療法 活動報告（概要）

京都府作業療法士会では、社会貢献局に位置付けられる認知症支援推進部を中心として、府民に対する認知症支援を軸とした直接的な社会貢献事業や、府内の作業療法士への教育研修事業等に取り組んでいる。

認知症カフェ支援に関する京都府からの受託事業（2018年度～2024年度現在）

2023年度も「本人の活動を重視する認知症カフェ開催支援事業」として受託。京都府下の認知症カフェにアドバイザーを派遣し、主に認知症カフェの開催に関わる支援を行った。2023年度は3カ所のカフェ（運営会議）に、計10回、延べ15名を派遣。福知山市情報交換会へ1名派遣。

2024年3月には「本人ミーティングってなんぞや？」を開催し、カフェ運営者と士会員の交流を促進している。



「認知症を考える～食べること、そして終末期の視点から」研修会を実施

2024年1月13日第9回京都府作業療法学会の市民公開講座を「ハートピア京都」にて開催。認知症の人と家族の会京都府支部代表の河合氏の講演、それを受けての各領域で働く作業療法士とのシンポジウムを開催。対象は一般市民。

認知症カフェの運営協力

受託事業に先行し、2013年より認知症カフェ運営に協力。2023年度は受託事業とは別に3カ所、計25回、延べ35名を派遣（オンライン含む）。2024年度も継続中。

各種連絡会・協議会への関与

当事者団体、医師会や行政、各支援機関などで構成されている団体へ派遣を継続中。

京都認知症カフェ連絡会への関与

世話人1名を派遣。2023年6月からは連絡会事務局を認知症支援推進部が継続支援中。

他県士会との連携

鹿児島県士会への講師派遣、認知症カフェ支援に資する士会員の養成についての相談対応

(公社)認知症の人と家族の会京都支部との連携

世界アルツハイマーデーに開催されたイベント運営協力。2024年度は世話人1名派遣。

2023年度の振り返りと今後

コロナが5類に変更され徐々に制約は解かれていったが、オンライン中心や開催規模を縮小しながら活動が余儀なくされている現在ではあった。2024年度も認知症当事者や家族の思いを中心に、誰もが自分ごとと捉えられるような認知症の疾病感が広まればと願い取り組み、また、そのためにも取り組みの報告にも尽力していきたいと考えている。